

# 共同便所のある路地

**仙** 台三越の向かいにかつて、三筋の狭い路地に木造の飲み屋が密集する「しょんべん横丁」と呼ばれる一帯があった。確か、バイトに明け暮れていた大学三年生の頃だったと思う、給料が出て気が大きくなった私は、いつものように友達を誘ってそこに繰り出していた。いい気分が酔っぱらい、路地の中程の共同便所で用を足していると、お隣にやってきた御仁が、いきなり前の壁にもたれかかって用を足し始める。かなり酔っぱらっているようで、今にも崩れ落ちそうな体勢だ。「しょんべん横丁」という不名誉な名称の由来ともなっているこの大きな共同便所は、長い壁に向かって用を足す形式で、隣との仕切りは無く、小水は壁の下の溝で集められていた。つまり、ここで崩れ落ちることは、小水のたまった溝で溺れることを意味するのである。最初は下手に助けて小便を掛けられるのも嫌だと思っていたのだが、重心が下に移行す



貳式参横丁のトイレ



ビル建設中の旧しょんべん横丁

る速度が早まって来たので、さすがに捨てておけず、間一髪の所で後ろから支えて助け上げた。助けてみるとどうもその顔に見覚えがある。なんと、厳格な授業で有名な大教授、S先生ではないか。正気に戻られたS先生は、私に恭しく敬礼をされ（幸いにして大切なものはしまっておられたが、社会の窓は全開であった！）自分が飲んでいる店でおごらせると宣言し、すたすとある店の中に入って行く。親方の丁寧な料理が出されるそこで、ごちそうになった美味しい海の幸の数々は、貧乏で栄養状態が悪かった当時の私には、まさに竜宮城

での接待、夢の中の出来事のようにあった（あれ、一緒に飲んでいた友達はどうなったんだ？）。その後、縁あって、大学に勤めることとなったが、一番年かきの教授も畏れるS名誉教授が、なぜか一番下っ端の私に気さくに接して下さるのが、嬉しかったものである。

**そ** の後、ここには美味しいアイリッシュビールを飲ませてくれる飲み屋なんかが出来て、最近まで良く通う場所であった。しかし2008年、急遽決まった再開発によ

## 校友メッセージ ♥東北大学、♥仙台

### 工学部・工学研究科 小野田泰明教授 (工学部卒業)



Onoda Yasuaki 1963年石川県生まれ。1986年工学部建築学科卒業、93年博士号取得、97年助教授に就任、98～99年UCLA客員研究員を経て、2007年から教授に。

業績…2001年、せんだいメディアテークの建築計画に参画（伊東豊雄設計）、阿部仁史前教授（現、UCLA教授）と共同で2002年・赤北市民ホール、2004年・仙台市荒井集合住宅の建築を手がけたほか、2008年にはみかんくみと共同で伊那東小学校の建築に携わっている。2008年には、阿部前教授と共同で「講堂+コンサートホール」として東北大学百周年記念会館「川内萩ホール」の改修も完成させた。

活動…また一方では、阿部前教授、石田壽一教授、本江正茂准教授、五十嵐太郎准教授らと共に建築学科の学生たちのための国際的ワークショップや、メディアテークを使った卒業設計日本一決定戦などを組織し、全日本的な、あるいは世界的なスケールで体験を積んでいけるような環境づくりに力を入れている。『空間管理社会』(2006)などの著書があり、阿部前教授との共同の取り組みは『プロジェクト・ブック』(2005)にまとめられている。

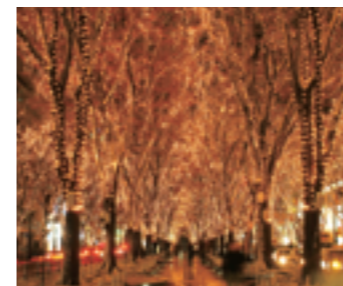
▶都市建築専攻の情報誌「トンチク+」は、せんだいメディアテークでも市販されています



て、この「しょんべん横丁」は跡形も無く取り壊されてしまう。行き場を失って途方に暮れてしまった私の足は、現在、市街にもうひとつ残る路地「いろは(貳式参)横丁」に向かうことが多い。そこにもある共同便所で用を足すたびに、四半世紀前のS先生の姿を思い出し、ひとり笑むのである。



小野田泰明教授が計画に関わった せんだいメディアテーク (設計:伊東豊雄建築設計事務所)



西澤潤一博士の発光ダイオードも使った SENDAI 光のページェント



定禅寺通ストリートジャズフェスティバル



仙台・青葉まつり



せんだいメディアテークでの工学部建築・都市計画学科のワークショップ



東北アジア研究センター主催、せんだいメディアテークで開催された公開イベント「トナカイ!トナカイ!トナカイ!」©斎藤秀一



せんだいメディアテークで開催される東北大学主催のサイエンスカフェ

あま仙  
なち台

## 定禅寺通の変化の陰に、東北大学

校友の皆さんには、「学都仙台」の中でのシテイライフは大事な青春のヒトコマとして残っているのではないのでしょうか。会報では、「学都仙台」の変化と東北大学とのかわりなど多岐にわたって紹介しました。仙台の中で一番元氣のあるストリート・定禅寺通を紹介いたします。

仙台・青葉まつり(5月第3日曜と、その前日)、仙台七夕まつり(8月5～8日)、定禅寺通ストリートジャズフェスティバル(9月第2日曜と、その前日)、仙台クラシックフェスティバル(せんくら/10月第2日曜を含む土・月曜)、SENDAI光のページェント(12月12日・31日)など、仙台の四季を彩るイベントのメイン会場となるのが定禅寺通。真ん中に広い遊歩道を持つけやき並木は、散策の道としても大人気です。

全国的なイベントとなった光のページェントは、西澤潤一元総長(工学部卒・工学研究科修了。総長在職1990-1996年)が開発した発光ダイオードも利用され、博士が川内キャンパス扇坂の半導体研究所で始めたイルミネーションが発祥ともいわれます。

また、この定禅寺通では21世紀の名建築として世界的に知られる「せんだいメディアテーク」という建物がありますが、この施設の計画には工学部・小野田泰明教授が参画していました。東北大学を中心に、東北工大、宮城大、宮城学院大、東北芸工大の学生が主催する建築卒業設計の甲子園「卒計日本一決定戦」の会場としても有名で、毎年3月には全国から集まった建築家をめざす数千人の若者で一杯になります。また、東北大学が毎月開いている「サイエンスカフェ」も、メディアテークを会場にすることがほとんどです。

### 広瀬川に、地下鉄東西線の架橋工事

いま仙台市では、仙台駅前～青葉通～西公園～青葉山～八木山と延びる地下鉄東西線の工事が進んでいます。

東北大学川内・青葉山キャンパスを訪れる人には、大橋と仲ノ瀬橋の中間で行われている広瀬川への架橋工事が目に留まるはずです。地下鉄は広瀬川を横切り、元の仙台商業グラウンド辺から川内へ、そして山を貫いて青葉山新キャンパスから八木山へと続き、2015年頃の開業が予定されているのです。



東一市場



貳式参横丁▲▲

